

中小企業開発庁
(Small and Medium Business Development Agency)

富の源泉となる民間分野の育成は、継続的な経済成長や雇用創出、貧困削減のために不可欠な取組です。他国同様、当国においても民間部門の大半は中小企業であり(当地の大手金融機関によると同機関の貸付先の内、99.6%が中小零細企業)、中小企業支援体制の整備は、政府の大きな課題の 1 つです。同課題に対する取組の一環として、政府は 2018 年に「中小企業開発庁」を設置しました。以下、同庁の概要をご紹介します。

1. 中小企業開発庁の活動としては、①中小企業の競争力向上、②金融アクセス改善、③官民連携促進、④起業促進、⑤中小企業への国内外からの投資誘致が挙げられます。このほか、中小企業に関する制度改善や有用な情報の提供などの支援を行っています。
(中小企業は、競争力不足や国際市場へのアクセスを持たないことを課題としていることが多く、また、当地の大手金融機関は中小企業にとって金融サービスへのアクセスが困難であると指摘しており、融資プロセスのデジタル化などを図っています。)
2. 中小企業開発庁の全国における支援サービスの一例として KOB(Kiçik və Orta Biznesi: 中小企業)ハウスがあります。KOB ハウスは、政府と企業(G2B)、企業同士(B2B)の連携を促進するためのサービス提供を目的とし、現在ハチマズ県とイエブラフ県の 2か所に設置されています。また、同庁は E-KOB ハウスというポータルサイトを開設しており、各種申請などの電子処理を可能とし、都市部と地方の中小企業間の格差是正が進むことが期待されます。
3. ご参考として、同庁のウェブサイト URL を記載致します。
<https://smb.gov.az/en> (英語・アゼルバイジャン語)

(以上)